

大和郡山 防災ニュース 30. 1月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

市内自主防災組織巡り 北市場自主防災会会長にお話を伺いました！

今月は筒井地区の北市場自主防災会の林会長にお話を伺いました。

～12月3日の防災訓練に77名が参加！～

筒井の北市場地区は、近鉄筒井駅の北側、近鉄橿原線をはさんで、東に250m、西に500mと東西に広がる世帯数320戸余の住宅地域です。昨年12月3日には、地区内の市有地で地域の防災訓練が実施されました。午前9時30分に地震が発生したという想定で、各班毎に決められた避難計画に基づいて、集団的段階的避難で会場に集合した住民は77名。当日は幸いお天気にも恵まれ、役員の手伝いに引き続き、消防署職員による救命訓練（心肺蘇生法）など行われた後、炊き出しの豚汁で和やかなひとときを過ごしました。参加住民の中でオレンジのウインドブレーカーを着用しているのは防災委員の皆さんで住民の計画的な避難に携わりました、防災委員は班毎に2名ずつ合計16名、任期は1年間とのことです。

さて、この地区には、既に昭和53年から自主防災組織が設立されていましたが、現在に繋がる防災活動が始まったのは、今から約10年ほど前、現会長や地区の防災士などが、同地区の自主防災組織を実際の災害においても役に立つ活動ができる組織につくっていきこうと、避難計画の策定や訓練の実施などに着手して現在に至っています。

～避難計画をリニューアル、班毎に「安心(電話)網」を構築！～

北市場地区で初めて避難計画を策定したのは、8年前のことでした。その内容は、各班毎にいざ災害の時、自宅からまずどこに集まるのか（1次避難所）そして、できるだけ安全と思われる経路を指定して、2次避難所から市指定避難所までの流れをつくって防災役員に周知しました。その後、年月の経過に伴い、当初、1次避難所に指定していた空き地に家が建つなど、状況が変化してきたため、去年、計画の改定を行いました。改定に当たっては、各班毎の住民が実際に現場を歩いて、災害時を想像しながら検討しました。

また、以前は防災役員のみ周知していた避難計画を、今回は全世帯に配布しました。更に、各班毎に『安心網』という電話連絡網をつくって、台風などの際に、逃げた方が良いのか？等の情報提供を、会長→班長→各戸とできるようにしました。

～防災知識の啓発にも努力！～

北市場では、毎月25日の会合毎に防災情報を共有化し、住民に継続的な情報提供しています。最近では昨年10月の台風21号に絡め、避難勧告等がどのレベルで発令されるか、などが取り上げられました。また、年に一度防災研修会を開催、第1回は阪神淡路大震災の震源、野島断層を実際に見に

行くなど、住民が災害の知識を興味を持って掘り下げていくための工夫を行っており、毎回40～50名の参加があるとのことでした。数年前には、郡山南中学校の体育館において、筒井幼稚園と共同で避難所体験を実施したこともあったそうで、その際はマンホールトイレ体験、お餅つき等のイベントも併せて行い、園児の楽しそうな声も相まって盛り上がったということです。これらイベント開催の予算は、自治会からの補助金で賄われており、防災研修会については自己負担も交えて運営されています。

～住民に語りかけ続けることが大事！～

北市場の地域の持ち味は何でしょうか？と会長に問いかけると、10年間の活動の中で住民が協力的だったことが継続できた原因だということでした。もちろん防災に関心のない人はまだまだたくさんいますし、避難行動要支援者を誰がどのように助けに行くのかを決めることもなかなか難しいと言われます。でも、住民に対して『あきらめず語りかけていくこと』が大事だとのこと！また、防災活動が近所づきあいの希薄化を克服するチャンスであり、炊きだしなどの「楽しみ」も交えながら、住民相互の顔の見える地域づくりを目指したいとのことでした。

出初め式にご参加ありがとうございました！

去る1月7日、恒例の消防出初め式が開催され、多くのお客様を集めました。去年から矢田の総合公園に会場を移したこの出初め式、今年は、表彰時の祝賀演奏や分列行進のマーチ演奏を郡山西中学校吹奏楽部の皆さんにお願いして、式典に生演奏の華やかさを添えてもらいました。また、ふたば保育園園児による太鼓の演奏やはぐみ幼稚園園児も併せた「防火の誓い」も行いました。もちろん、消防団員の力強い行進や消防ポンプ車、ハシゴ車、救急車の展示や、ポンプ車5台による一斉放水に、青空の下、子供たちの歓声が上がっていました。

～防災一口メモ(2)～

防災備蓄品って、何を揃えたら良いの、というご質問をよく伺います。下記はある機関が行った災害時に実際に役に立った備蓄品アンケートの上位20品目です。(1)懐中電灯(2)食料品(3)ラップ(4)ビニール袋(5)小型ラジオ(6)トイレトペーパー(7)乾電池(8)ウェットティッシュ(9)作業用手袋(10)小銭(11)使い捨てカイロ(12)カセットコンロ(13)下着(14)薬(15)紙コップ(16)飲料水(17)アルミ箔(18)紙皿(19)生理用品(20)帽子 という結果でした。なお、防災専用にごこだわらず、インスタントラーメンの普段の買い置きを少し多めにしておくなどもいざという時に有効です。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース 検索

↑

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ 検索

↑

発行人 市役所市民安全課